



# ASIA ROAD RACING CHAMPIONSHIP

[www.asiaroadracing.com](http://www.asiaroadracing.com)



**MOBILITYLAND**

<http://www.mobilityland.co.jp/>



公式プログラム

## 【イベント概要】

- イベント名称：2017 アジアロードレース選手権シリーズ第3戦
- 日程：2017年6月2日(金) フリー走行・公式予選  
3日(土) 公式予選・決勝レース  
4日(日) 決勝レース
- 併催：2017 鈴鹿・近畿選手権シリーズ 鈴鹿 サンデーロードレース J-GP3
- 主催：一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)  
株式会社モビリティランド
- 後援：スポーツ庁/観光庁/三重県/鈴鹿市/  
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会/  
一般社団法人鈴鹿市観光協会/鈴鹿商工会議所
- 会場：鈴鹿サーキット国際レーシングコース(2輪用:5.821km)
- 天候・動員：6月3日(土) 晴れ 22.5℃ 7,000人  
4日(日) 晴れ 24.3℃ 12,000人  
[2016年実績]  
6月4日(土) 曇り 24.6℃ 7,200人  
5日(日) 曇り 20.5℃ 10,500人

## 【メディア概要】

- 取材者数：50媒体 74名

## アジアの精鋭が激戦を展開する 「アジアロードレース選手権」 日本ラウンドの舞台は今年も鈴鹿サーキット!

アジア、オセアニアの12の国と地域の選手が集結し、マレーシアでの開幕戦を皮切りに、タイ、日本(鈴鹿)、インドネシア、インド、タイと各国を転戦、全6戦でタイトルが争われる「アジアロードレース選手権」。鈴鹿サーキットでは2013年の初開催以来5度目の開催となりました。開催カテゴリーは、最高峰クラスとなる市販スポーツバイクベースのSS600(SUPERSPORTS 600cc)をはじめ、アジア市場の人気を集める市販250ccスポーツバイクベースのAP250 (ASIA PRODUCTION 250cc)、アジアで盛んなUB150 (UNDERBORNE 150cc)、全日本選手権JSB1000トップライダー加賀山就臣選手がプロデュース・監修を手がけるSAC (SUZUKI ASIAN CHALLENGE)、Honda NSF250RのワンメイクレースIATC (IDEMITSU ASIA TALENT CUP)という多彩なラインナップ。世界や鈴鹿8耐を目指す選手達の激しいバトルが各クラスで繰り広げられました。



### SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

### TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

### TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



## 【SS600】

### レース1

オープニングラップから展開されたトップ争いは、伊藤勇輝を先頭に一時8台での激しい戦いとなりましたが、終盤には伊藤、アンソニー・ウエスト、ザクワン・ザイディ、チャロンポン・ポマライ、榎戸育寛の5台に絞られ、最終ラップを迎えました。ここで一気に勝負に出たウエストが逆バンクでトップに浮上し、そのままチェッカー。2位に伊藤、3位にディフェンディングチャンピオンのザイディが続きました。

	RIDER	TEAM	MAKE
優勝	アンソニー・ウエスト(オーストラリア)	Akeno Speed Racing	YAMAHA
2位	伊藤勇輝	Yamaha Racing	YAMAHA
3位	ザクワン・ザイディ	MUSASHI Boon Siew Honda Racing	Honda



※タイヤはダンロップのワンメイク

レース1スタート

### レース2

序盤から伊藤、榎戸、ポマライ、ウエストらがレースをリードしますが、後方から羽田太河、ワイルドカード参戦の加賀山就臣が追いつきます。激しく順位を入れ替えながらレースは推移し、終盤にはウエスト、伊藤、羽田、そして加賀山のオーダーとなりましたがウエストが徐々に後続を引き離してダブルウインを達成。2位は伊藤、3位には激戦を制した加賀山が入りました。

	RIDER	TEAM	MAKE
優勝	アンソニー・ウエスト(オーストラリア)	Akeno Speed Racing	YAMAHA
2位	伊藤勇輝	Yamaha Racing	YAMAHA
3位	加賀山就臣	Team KAGAYAMA	SUZUKI



※タイヤはダンロップのワンメイク

レース2 表彰台

## 各レース ウイナー

### 【AP250】

レース1/レース2  
ゲリー・サリム(インドネシア)



ダブルウインを達成したゲリー・サリム(先頭)

### 【UB150】

レース1 ワフュー・アジ・トゥリラクサナ(インドネシア)  
レース2 ファクワ・シー・シャキリン・ロスタム(マレーシア)



レース1を制したトゥリラクサナ(先頭)



レース2を制したロスタム

### 【SAC】

レース1/レース2  
ブンチャナ・クルロジチャラライ(タイ)



トップを走るクルロジチャラライ

### 【IATC】

第5戦 埜口遥希 第6戦 國井勇輝



第5戦の表彰台



第6戦の表彰台

### 【鈴鹿サンデーロードレース J-GP3】

中島陽向



※詳細なりザルトは右記をご参照ください。 <http://www.suzukacircuit.jp/>

## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435



SAC(SUZUKI ASIAN CHALLENGE)のプロデュースと監修をつとめる加賀山就臣選手が同レースのポールシッターを激励しました。



SACのライダーコーチを務めるのは元世界GPライダー八代俊二氏です。



Honda CBR250RユーザーがAP Honda Racing Thailandピットを訪問、山口辰也選手、チームアドバイザー玉田誠氏らと交流しました。



サーキットビジョンの背面からパドック方向へライブ映像をオンエアする「パドックビジョン」。D席・E席からも映像をご覧いただけます。



大会の様子はfacebookにて動画でライブ配信されました。



大会の様子はFOX TVによりアジア諸国へライブ放映されました。

## PICK UP 1

国際レーシングコースの運営施設見学など、ふだんは入れないエリアのプレミアム体験ができる「バックヤードツアー」。今回はピット訪問も加えたスペシャル版でお楽しみいただきました。



レース運営の中核、コントロールルーム見学。



MUSASHi Boon Siew Honda Racingのピット訪問。

## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435





今大会はゆうえんち入園料でパドックまでお入りいただける  
とともに、ピットビル3F「ホスピタリティテラス」も開放。



パドックからS字側へ直接アクセスできる「S字トンネル」の供用  
が始まっています(レース・イベント時のみ。レースによっては  
パドック入場可能パスが必要です)。



アトラクション「レーシングシアター」で行われている鈴鹿8耐  
にまつわるレーシングマシン展示。



4日(日)お昼のインターバルに行われたウェディングパレード。

## PICK UP 2

今年で40回目を迎える\*コカ・コーラ\*鈴鹿8耐。マシン展示・搭乗、表彰台体験、バイクでの国際  
レーシングコースVR体験など、その魅力をフルに感じていただける「40th Anniversary “8耐  
ZONE”」が、ゆうえんち内ジョイフル広場に登場しました(7月30日(日)まで)。



## PICK UP 3

大会初日の2日(金)、鈴鹿商工会議所女性部の皆さんが国際レーシングを視察。株式会社モリワ  
キエンジニアリング 森脇南海子氏の案内でコントロールタワー・ピット・パドック訪問やレーシ  
ングコース遊覧走行をご体験いただきました。



## SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

## TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

## TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

【公式プログラムご協賛各社】



住友ゴム工業株式会社  
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

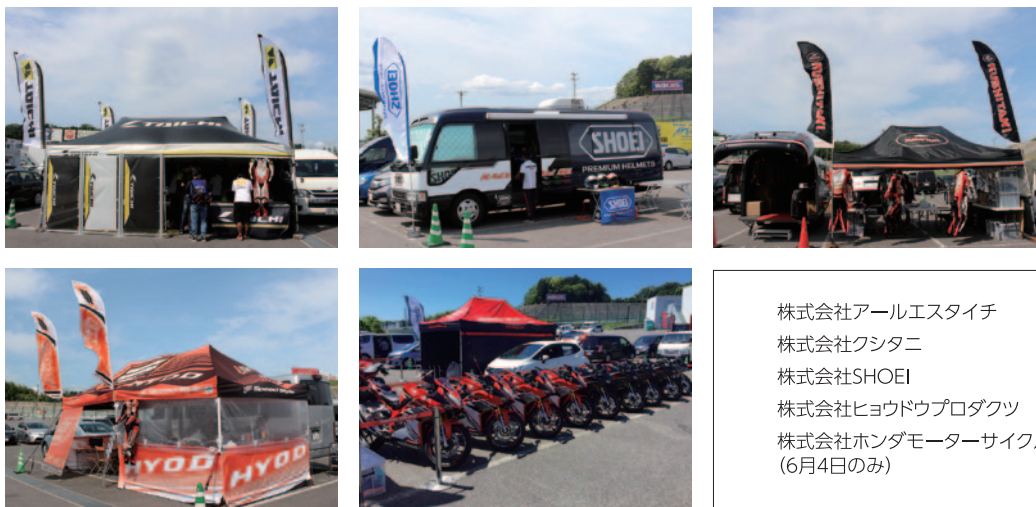
A4 カラー24p 無料で配布いたしました。

【サーキットビジョンご協賛各社】



コカ・コーラ  
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン

【パドックサービスご出展各社】



株式会社アールエスタイチ  
株式会社クシタニ  
株式会社SHOEI  
株式会社ヒョウドウプロダクツ  
株式会社ホンダモーターサイクルジャパン  
(6月4日のみ)

【ホスピタリティラウンジご利用社】



TWO WHEELS MOTOR RACING

SUZUKA CIRCUIT

7992 INOU-CHOU,SUZUKA-SHI,MIE 510-0295,JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

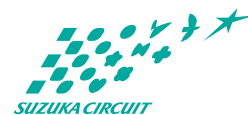
TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA,MOTEGI-MACHI,HAGA-GUN,TOCHIGI 321-3597,JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

No.45 KOWA BUILDING 9F,1-15-9 MINAMI-AOYAMA,MINATO-KU,TOKYO 107-0062,JAPAN TEL:03-5770-6430 FAX:03-5770-6435

鈴鹿サーキット・ツインリンクもてぎを支えていただいている  
年間ご協賛パートナー各社様 ※五十音順・敬称略



※企業名での五十音順/敬称略 ※2017年5月1日現在